



# 利南東



令和5年度学校だより  
令和6年1月29日  
第15号  
校長 大竹 敏之

【TONAMIプライド第2章】 **つなぐ** 「ひと・学び」

## ■ PTA活動ではいつも大変お世話になっています

本年度も保護者の皆様には、各種PTA活動で大変お世話になっております。4月21日に行われた1・2年生の交通安全教室でも、多くの保護者の皆様にお手伝いいただきました。当日の様子について、家庭教育委員の横坂 伸枝様にご寄稿いただきましたので紹介させていただきます。お忙しい中、本当にありがとうございました。

### 交通安全教室に参加して

家庭教育委員 横坂 伸枝

初夏のような日射しが照りつける中、1・2年生を対象とした歩行訓練がありました。交通指導員さんをお招きし、交通ルールについて体験的に教えていただきました。歩いている道に潜んでいる危険について改めて考える良い機会となりました。

「信号が青になってもすぐに渡らず、左右を確認してから渡ろうね。」「信号無視をする車がいるよ。」「手を挙げて運転手に教えよう。」「一列で渡ろうね。」皆、しっかり聞いて上手にできていました。

交通量が多い道路を横断する子どもたちがいます。今回の教室をきっかけに「自分の命は自分で守る」子どもたちに育ってほしいと思います。

協力してくださいました補導部の皆さん、1年生家庭教育委員の皆さん、交通指導員さん、お忙しい中ありがとうございました。



## ■ 「校長文庫」貸出トップ5発表!!

11月から始めた「校長文庫」ですが、多くの児童が借りてくれて本当に嬉しいかぎりです。貸出冊数もいよいよ累計100冊に迫ってきましたので、現時点でのトップ5を初公開します！子どもたちの読書傾向が現れていてとても興味深いです。「校長文庫」をきっかけに本に親しみ、様々なジャンルの本を読んでもくれることを心から願っています。(絵は絵本)

- 第1位 13人 「わたしがいじわるオオカミになった日」
- 第2位 6人 「わたしのいもうと」
- 第3位 5人 「ジュニア空想科学読本①」※シリーズではダントツ人気です(累計13人)
- 第4位 4人 「星のカービィ～あぶないグルメ屋敷!?の巻」  
「星座と星うらないのひみつ」 「おててがでたよ」





## ■ 沼田市子ども議会で代表児童が質問しました

令和5年11月18日（土）に沼田市議会議場Waltzホール（テラス沼田5階）で「沼田市子ども議会」が開催されました。市内各校から代表者が参加し、本校からは6年生の宮田真名さんが代表として市政に対する自分の考えを発表しました。利南東小学校の通学に関する安全対策について質問しましたが、自分の実体験をもとに友だちと協働しながら深く考え、解決策を導こうとする姿勢が大変高く評価されました。自分たちの安全を自分で考えようとする態度が本当に素晴らしいです。本校児童の危機回避能力と危機管理意識の高さの表れだと思います。市長の答弁と共に全文を紹介します。

**質問** 私が通っている利南東小学校は、後ろにがけ、前に川があり、土砂災害警戒区域に指定されています。私が通っている通学路は山道で、雨が降るとがけがくずれ、道がふさがってしまうことがあります。雪が降ると竹が垂れ下がり、凍っているとすべって転んで毎年けが人が出ています。私もすべって転び、けがをしたことが何度もあります。また、道がふさがってしまうともちろん通れなくなり、通れるようにするまでに時間がすごかかります。そして、雪が降り竹が垂れ下がり、その雪が頭上から落ちてくることもあります。

そこで私は6年生に「安全を守るために、沼田市にどのような対策をしてほしいですか。」というアンケートを取りました。その結果、「スクールバスの導入」という意見が約7割ありました。私たちはスクールバスを必要としていますが、市長は私たちの安全をどのように考えていますか。



### 市長答弁

ただいまの宮田真名議員のご質問にお答え申し上げます。子どもたちを土砂災害から守る通学路の安全対策について、であります。本市では、児童生徒の安全を第一に考え、保護者や地域のボランティア、学校や関係機関と連携し、通学路の巡回や草刈りの実施、地域安全マップの作成による安全点検、児童生徒に危害が及ぶおそれがある場合の保護者への情報提供など、学校や地域の実態に応じた取組を充実させているところです。また、毎年、夏季休業中に学校から報告された危険箇所については、教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察、市役所、自治会が参加する合同点検を実施し、必要に応じて対策を検討・実施しています。利南東小学校で登下校時にスクールバスを導入した場合、今年度は上段から通学している児童が170名程度いることから、3つの通学路にバスを1台ずつ運行させ、それぞれのバスが複数回往復することを想定した場合、児童の到着時間に大きな差が生じるため、始業や下校の時間、教職員の勤務時間など、諸課題の解決に向け、研究していく必要があると考えています。そのため、現時点では、関係機関と連携して環境整備を行うとともに、学校や家庭・地域と連携して安全教育の充実を図ることで、安全・安心な登下校について対策を講じてまいりたいと考えているところです。以上申し上げまして、宮田真名議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。



**<つなぐ コラム>** 今年もなわとびの季節がやってきました。校長室前の広場や児童玄関の前で元気に跳んでいます。互いに教え合ったり拍手をしたりと友だちと楽しそうに**つながる**姿が本当に微笑ましいです。冬場の体力向上にも大きな効果があるので、これからも仲良く、時に競い合いながら取り組んでほしいです。

